

暖かかったお正月から一転、1月中旬からの寒さでインフルエンザが猛威を奮い、学級閉鎖や学年閉鎖で、寂しい日々が続いていました。一度インフルエンザにかかったからと言って油断は大敵です。まだまだ、インフルエンザや風邪に負けない体力づくりが必要です。

持久走記録会が終わり、2月14日には、なわとび集会が行われます。なわとび集会は体育委員会の主催です。

子どもたちは寒い冬を元気に乗り切るための体力作りに励んでいます。昔も今も「子どもは風の子」。厚着しすぎず、外で元気に走りまわることが、子どもたちの体力のもとなのです。私たち大人も気を付けなければ・・・。



百人一首

2学期の終業式に4年、5年、6年に渡した「校長先生からの挑戦状」を受けて、たくさん子どもたちが校長室に百人一首の暗唱しに来てくれています。（2年生も一人来てくれました）名人が誕生したので、校長室での百人一首大会の開催も現実的になってきました。

2月9日現在の成績は、

初級（5首）	11人
中級（10首）	6人
上級（20首）	1人
名人（50首）	1人

※ 4首までの挑戦者もたくさんいます。

先日の音読発表で4年生は百人一首の暗唱と歌意を発表してくれました。歌意がわからなくても、言葉の音の心地よさを感じて欲しいと思っています。

かささぎの 渡せる橋に おく霜の

白きを見れば 夜ぞふけにける



ネットでみつけたちょっといい話

中学生の弟が、散髪屋で丸坊主にしてきた。どうしたのかと聞いてみたら、病気で入院していた小学校からの女の子の友だちが、今日から登校するようになったからだ。その子は、薬の副作用で髪の毛が全部抜けてしまったそうだ。「女の子が丸坊主じゃ恥ずかしいと言ってたし、だったら他にも丸坊主がいりゃいいかなと思って。」

翌日、丸坊主で登校した弟は、帰宅するなり、「同じこと考えていたやつがいっぱいたい！」と。クラスの男子全員が丸坊主かそれに近い頭になっていて、女の子の中にはベリーショートが何人かいて一人は完全な丸坊主だったそうだ。丸坊主だらけの教室で病気の女の子は、爆笑しながら「ありがとう、ありがとう」と泣いたという。

申し合わせたわけでもないのに、みんなが同じことを考えた弟のクラスに和んだ。

申し合わせたわけでもないのに、誰かに頼まれたわけでもないのに、クラスの子のことを思いやり行動に移すことのできる中学生たち。小学生にここまでの自発的な行動は望めないと思いますが、人を思いやる心をもつこと、そしてそれをその子なりに表現することはできるはずです。そんな子どもたちに育つよう、おうちのかたと学校とタッグを組んで支えていきたいと思っています。

2月1日は、浜小学校の創立記念日でした。学校だよりもあったように、明治35年4月1日に設立された岸和田浜町尋常小学校が、大正12年2月1日に岸和田市浜尋常小学校と改称されました。その2月1日を創立記念日としています。実際に設立されてから今年度末には115年の浜小学校。先人たちの思いを振り返り、大切に守っていききたいですね。

